



## 世界の建築家が「家具クラフト産地」を応援!!

今年のコロナ禍や夏の猛暑から、人々の暮らし方、働き方が大きな転換期を迎えている。大都市では会社へ出勤せず自宅で働く機会が増え、暮らし方も隣のコンクリート壁を見ながら暮らす、変化のない日常の暮らしが変わろうとしている。

世界的に著名な建築家・隈研吾氏（東京オリンピック国立陸上競技場設計者）が鈴木輝隆前立正大学教授の紹介で、8月中旬に1泊2日の日程で東川町を訪問いただいた。街中を見て、「歩いて行くことができるコンパクトな街」であると中心市街地を高く評価された。歩くことは健康にも良いし、普段見えないものが見え、心を豊かにしてくれると言う。「隙間」、「余白」がある町づくりに関心を持っておられ、小さな隈研吾北海道東川事務所や「世界の椅子コレクション」など文化資産を生かした大きな応援プロジェクトの話が中心市街地の中で具体化しつつある。実現すると、未来に向かって木工クラフト業や観光サービス業にも大きく貢献することになる。また世界の若

手デザイナーや地元の家具クラフトづくり職人を応援する準備にも入っている。町を挙げて積極的に関わってゆきたいものである。

今年2月に大学院生とともに滞在されたハーバード大学大学院の森俊子教授も家具振興のために「椅子のデザイン」を寄贈してくれると言う。彼女にとって椅子のデザインは初めての挑戦だと聞いた。

「朱に交われれば赤くなる」という言葉がある。超一流を目指すなら、超一流の分野の人々と連携し、刺激を受け、進化していくことの大切さを伝えていく。スノーボーダーの竹内智香選手もかつて、スイスの男子金メダリストが所属するナショナルチームに入って技術を磨き、ソチ五輪で銀メダルを獲得している。

「コロナ禍転じて福となす」のは朱に交わり、私たち一人ひとりが「共に」取り組む積極的な姿勢にあるのでは。世界から評価される家具クラフトの町を目指したいものだ。「守株」では何も前進はしない。

※「守株」（しゅしゆ）＝古い習慣を守って進歩のないこと

### エンド・オブ・ライフ（一般書）

佐々涼子／著 集英社インターナショナル／刊



多くの患者を看取ってきた看護師の友人が癌になった。「看取りのプロフェッショナル」である友人の死への向き合い方は、意外なもので…。最期の日々を共に過ごすことで見えてきた「理想の死の迎え方」とは。著者が在宅医療の取材に取り組むきっかけとなった自身の母の病気と献身的に看病する父の話を交え、7年間にわたる在宅での終末医療の現場を活写する。

### 空飛ぶタイヤ（DVD）

販売元：松竹



走行中のトラックからタイヤが突然外れる事故により、1人の主婦が亡くなった。事故を起こした運送会社社長・赤松徳郎は世間から整備不良のバッシングを受ける中、トラックの構造自体の欠陥に気付く。製造元に依頼した再調査がまったく進展しないことに苛立った赤松は自ら調査を開始。そこで大企業によるリコール隠しの現実を知ることとなる。(120分)

### 貸し出し図書 ビデオ紹介

せんとびゅあⅡ ほんの森

【貸し出し】

図書、紙芝居、雑誌は一人合計20点まで(15日間)  
DVDは一人2本まで(8日間)

★本、DVDの蔵書リクエストもお受けしています



### ぼくのすきなおじさん（絵本）

長新太／作 絵本塾出版／刊



男の子が、知っているおじさんの話をします。そのおじさんは、見た目は普通だけど、何か違います。車なんか頭でぶっとぼしてしまいます。大きな月も頭でぶっとぼしてしまいます。硬いダイヤモンドも頭で、ガン!! でも、オバケのお城を頭でぶっとぼすと、中からオバケが出てきて…。長新太ワールド全開のナンセンス絵本。